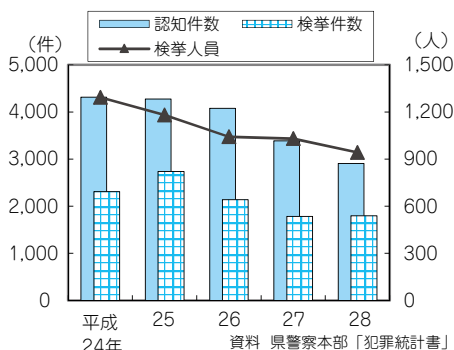


犯罪・火災に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
*刑法犯認知件数 (人口1万人当たり)	51.0件	18	78.5件	28
刑法犯検挙率	61.8%	3	33.8%	28
*出火件数 (人口1万人当たり)	3.54件	15	3.08件	27

資料 警察庁「警察白書」、総務省「消防白書」、「人口推計」  
(すべて平成28年)

刑法犯認知・検挙件数及び  
検挙人員の推移



(犯罪)

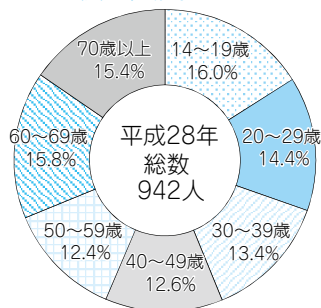
平成24年から28年までの刑法犯認知件数は減少傾向で、平成28年は2,907件でした。

平成28年の犯行時の年齢階級別刑法犯検挙人員の割合を見ると、「14～19歳」の占める割合が最も高く、次いで「60～69歳」となっています。

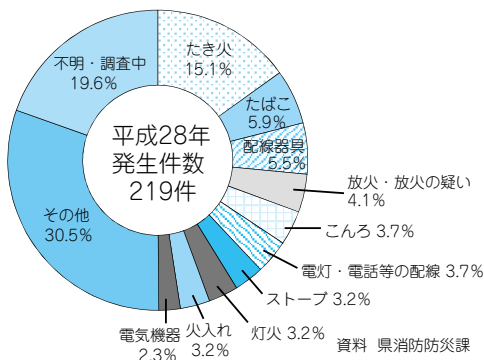
(火災)

平成28年の火災発生件数は219件で、前年に比べて16件増加しました。原因別火災発生件数の割合を見ると、「たき火」が最も高く、次いで「たばこ」「配線器具」の順となっています。

犯行時の年齢階級別刑法犯  
検挙人員の割合



原因別火災発生件数の割合



刑法犯 罪種別認知件数の推移

単位：件

年次	認知総数	窃盗犯	知能犯	粗暴犯	風俗犯	凶悪犯	その他
平成24年	4,313	3,292	176	178	39	18	610
25	4,279	3,215	167	160	42	18	677
26	4,077	3,141	138	121	32	16	629
27	3,388	2,631	110	122	34	23	468
28	2,907	2,275	122	115	32	8	355

資料 県警察本部「犯罪統計書」

（交通事故）

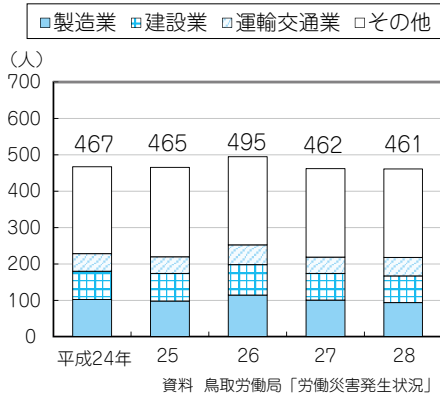
平成24年から28年までの交通事故の発生件数と死傷者数の推移を見ると、いずれも年々減少しています。

平成28年の交通事故の状態別死傷者の割合を見ると、「自動車運転中」「自動車同乗中」「歩行者」などの順となっています。

（労働災害）

平成24年から28年までの労働災害死傷者数の推移を見ると、26年に増加したものの、27年以降は減少しています。

労働災害死傷者数の推移

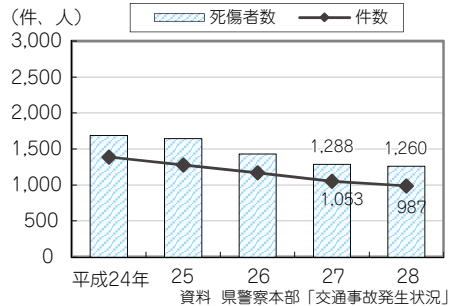


交通に関する主な指標

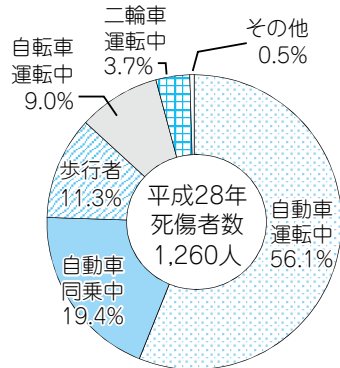
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
※交通事故発生件数 (人口1万人当たり)	17.3件	4	39.3件	28
※交通事故死傷者数 (人口1万人当たり)	22.1人	4	49.1人	28
※道路交通法違反取締件数 (人口1万人当たり)	54.0件	29	53.1件	28

資料 警察庁「交通事故発生状況」、総務省「人口推計年報」  
警察庁ホームページ「平成28年の犯罪」

交通事故の発生件数と死傷者数の推移



交通事故の状態別死傷者の割合



交通事故の年齢別死傷者数

単位：人

年次	総数	幼児	小学生	中学生	高校生	その他の少年	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
平成24年	1,688	23	39	19	50	40	296	328	275	222	201	195
25	1,644	29	51	25	42	42	227	315	266	235	211	201
26	1,430	23	53	12	36	45	226	256	232	170	208	169
27	1,288	19	30	15	53	20	214	218	214	185	162	158
28	1,260	17	43	21	28	27	202	229	243	137	156	157

資料 県警察本部「交通事故発生状況」